

時間割コード	G2B55718	開講年度	2026				
授業題目	AIジェネラルスキル応用ゼミ					担当教員	池森 裕毅
英文授業名	Life Creator Theory 3						丸橋 昌太郎
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	原則としてライフクリエイター入門講義受講者
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	・ 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力 ・ 対話を通じて多様な専門分野の者と協力し、目標実現のために方向性を示すことができる ・ 多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	生成AIが全産業にパラダイムシフトをもたらす中、本ゼミでは最新のAI技術動向を理解し、それをいかに社会課題の解決に結びつけるかを「AIスタートアップの起業」というプロセスを通じて学ぶ。授業では、生成AIを駆使したビジネスアイデアの構築から、ロジカルピッチを用いたビジネスモデルの言語化・可視化を実践する。単なる企画に留まらず、AI実装に伴う倫理的・法的側面も考慮しながら、説得力のある事業計画へと磨き上げる。最終的にはピッチ発表を行い、外部ビジネスコンテストへの出場も視野に入れる。AIを武器に社会へ価値を提示する経験を通じて、自らの人生を切り拓く「ライフクリエイター」としての基盤を構築する。						
(5)授業のキーワード	生成AI 起業 スタートアップ ロジカルピッチ ビジネスモデル 社会課題解決 プレゼンテーション レポートのフィードバック						
(6)授業計画	1: はじめに／池森 裕毅 2: アイデアを考えよう／池森 裕毅 3: ユーザーヒアリング／池森 裕毅 4: ビジネスモデル概論／池森 裕毅 5: アイデア相談会+奨学金海外視察報告会／池森 裕毅 6: ゲスト起業家講義／九富 里絵 7,8: 中間報告発表／池森+他 9: ピッチ資料の作り方／池森 裕毅 10: 市場規模算出方法／池森 裕毅 11: ピッチ資料デザイン講座／篠原 憲文 12,13: 公開メンタリング／池森 裕毅 14,15: 発表会、授業アンケート／池森+他 ※順番等は入れ替わる可能性がある。初回ガイダンスで示す。						
(7)成績評価の方法	上記達成目標に到達しているかどうかをはかるため、適宜授業に対する小テストおよびレポートを実施します。 また中間及び最終発表会への参加は必須とします。 これらに加え、提出されたピッチ資料の論理構成や、アイデアの検証プロセス（ヒアリング結果等）に基づき評価します。						
(8)成績評価の基準	試験やレポートの水準は、次の通りである。 必要最低限の知識と考え方を身につけており、授業中に示される事例の問題点を指摘できるようになれば、授業の達成目標に達したといえる（60～69点）。過不足のない知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析できるようになれば、水準よりも上回る（70～79点）。十分な知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析でき、解決まで考えられればさらにその水準を上回る（80～89点）。それ以上の理解・分析・解決ができ、実生活で実践できれば卓越している（90点以上）。						
(9)事前事後学習の内容	事後的な復習が強く求められる。参考文献等は適宜授業内で示していく。						
(10)履修上の注意	小テストに、携帯電話（スマートフォン）もしくはPCを利用するので、各自準備して、持参すること。全学横断特別教育プログラム「ライフクリエイター人材養成コース」を選択する学生は、必修科目であるが、そうでない学生も受け入れる。同コース選択希望の学生を優先し、その空き定数において、その他の学生を受け入れる。希望者が多い場合には、その他の学生を対象に抽選を行う。						
(11)質問、相談への対応	授業内もしくは授業後に受け付ける。						
(12)授業への出席	授業は原則オンラインでZoomを用いて行い、適宜物理的に集合してグループワークを行う。毎回小テストや演習、グループワークを行うため、出席できないと単位取得は難しい。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	オンデマンド配信により対応する。
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない